



大分市公式アプリ
提案資料

公式アプリならではの 信頼感と安心感を表現

ロゴデザインでは、大分市の公式アプリであることが直感的に伝わるよう、大分市のシンボルマークをベースにしました。これにより、ユーザーが一目で大分市のアプリと認識し、信頼感を持って使用できるようにしています。さらに、「ポケット」をモチーフにした要素を取り入れることで、アプリがポケットに入るコンパクトな情報ポータルとして、必要な情報をいつでもどこでも素早く取り出せる利便性を象徴しています。さらにユーザーがこのアプリを日常の一部として気軽に使用し、手元に置いておきたくなるという意味合いも持たせています。色彩については、大分市のロゴカラーである青を基調にしつつ、グラデーションを加えることで、現代的でありながらも変化と成長を表現しています。

■ロゴ



大分市の情報がすぐに取り出せる
おおいたポケナビ

■シンボルマークの意味



大分市のロゴ

+



ポケット

=



完成したシンボルマーク

■正方形パターン



大分市の情報がすぐに取り出せる
おおいたポケナビ

■横長パターン



大分市の情報がすぐに取り出せる
おおいたポケナビ



おおいたポケナビ

■白黒パターン



■アプリアイコン



大分市公式アプリ
おおいたポケナビ



大分市公式アプリ
おおいたポケナビ

■その他 アプリ名の提案



大分市の情報がすぐに取り出せる
大分市公式アプリ



大分市の情報がすぐに取り出せる
おおいたPOKET



大分市の情報がすぐに取り出せる
おおいた生活サポート

02 UI DESIGN



毎日の利用を考慮した 使いやすいUIの提案

UIデザインは、「誰でも使いやすく、直感的に理解しやすい」をコンセプトに設計しました。ユーザーが必要な情報に迅速にアクセスできるよう、シンプルで視認性の高いレイアウトを採用しています。まず、ユーザーが毎日確認する『今日の情報』を画面の最上部に配置し、日々の生活に必要な情報を素早く提供します。その下には、頻繁に更新される「新着情報」を配置し、最新の情報に効率よくアクセスできるようにしました。さらに、アプリ内で提供されるサービスは『生活』『行政・手続き』『遊び』『お知らせ』といった主要なカテゴリに分類し、ユーザーが目的の情報を容易に見つけられるように整理しました。デザイン全体のカラーリングは、ロゴマークのトーン&マナーに沿って青・グレー・白を基調としたシンプルな配色に統一し、視認性と親しみやすさを両立させています。



災害時に見た目と情報を切り替えられる設計

本提案の目的は、大分市民が「どんなときでも、このアプリを開けば必要な情報が確実に手に入る」という認識を持ち、日常的に活用してもらうことです。そのため、ユーザーがその時々に必要な情報を即座に入手できるよう、通常時と災害時で表示内容が自動的に切り替わる機能を提案します。通常時には、日常生活に役立つ情報を中心に提供しますが、災害時には最新の災害情報、避難情報、ハザードマップ、そして水害監視カメラなど、緊急時に必要な情報が即座に画面上部に表示される仕組みになっています。アイコンやボタンも通常時より大きくし、ユーザーがどのボタンを押せばどの情報が得られるかを瞬時に判断できるデザインにしました。本アプリのUIデザインは、大分市民の日常的な利便性を高めるだけでなく、非常時にも市民の命と安全を守るための重要なツールとなることを目指しています。



切り替え
→

